



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月3日

東

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 宇根 高司
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 15,977 | △12.3 | 800 | △8.5 | 868 | △10.7 | 513 | 2.4 |
| 2020年3月期第1四半期 | 18,226 | △7.8 | 874 | △18.5 | 972 | △20.9 | 501 | △35.5 |

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 878百万円(254.2%) 2020年3月期第1四半期 247百万円(△38.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 25.86 | — |
| 2020年3月期第1四半期 | 24.28 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 92,494 | 54,469 | 57.2 |
| 2020年3月期 | 90,600 | 54,027 | 58.0 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 52,895百万円 2020年3月期 52,546百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 22.00 | — | 22.00 | 44.00 |
| 2021年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | 22.00 | — | 22.00 | 44.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 35,000 | △4.3 | 1,300 | 41.2 | 1,500 | 31.3 | 1,000 | 120.1 | 50.41 |
| 通期 | 73,000 | 0.0 | 3,200 | 24.3 | 3,500 | 19.6 | 2,100 | 21.2 | 105.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期1Q | 20,652,400株 | 2020年3月期 | 20,652,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期1Q | 813,271株 | 2020年3月期 | 813,271株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期1Q | 19,839,129株 | 2020年3月期1Q | 20,631,924株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済および国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、極めて厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2016年度よりスタートしました第4次中期5ヵ年経営計画の方針（「事業の新陳代謝」や「真のグローバル化」など）に沿った重点施策を進め、事業の拡大や収益性の向上、事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、業績面では、同感染症の影響により需要環境が悪化し、販売数量の急激な減少が収益に影響しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は159億77百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益は8億円（同8.5%減）、経常利益は8億68百万円（同10.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期に計上した操業休止関連費用（特別損失）の発生がなかったことなどから5億13百万円（同2.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

製紙業界は、eコマース市場（電子商取引）の世界的な成長に伴う、段ボール原紙など板紙の潜在需要はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による需要低下がありました。また、印刷業界では、同感染症の影響により出版・広告分野で市場の縮小が加速しております。このような環境のもと、当事業におきましては、サイズ剤に加え板紙向け紙力増強剤などの販売が大幅に減少しました。

その結果、売上高は39億30百万円（前年同期比18.8%減）、セグメント利益は27百万円（同79.4%減）となりました。

<コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、車載向け電子部品やスマートフォン向けの需要低下がありました。また、印刷インキ業界では、同感染症の影響により出版・広告分野で市場の縮小が加速しております。このような環境のもと、当事業におきましては、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂の販売は5G関連分野の伸びがあり堅調に推移しましたが、印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂などの販売は大幅に減少しました。

その結果、売上高は34億61百万円（前年同期比15.3%減）、セグメント利益は3億12百万円（同3.6%減）となりました。

<粘接着事業>

粘着・接着剤業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車関連分野を中心とした需要低下がありました。一方で、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要は堅調に推移しております。このような環境のもと、当事業におきましては、自動車関連分野を中心にロジン系粘着・接着剤用樹脂の販売が大幅に減少しました。水素化石油樹脂は、市場における需給バランスの軟化や同感染症の影響により、販売が減少しました。

その結果、売上高は56億85百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益は2億90百万円（同20.0%減）となりました。

<機能性材料事業>

電子工業業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車関連分野や電子部品、スマートフォンの需要が低調でした。一方で、テレワークの増加などによる電子媒体関連や5G関連分野の需要は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、ファインケミカル製品や精密研磨剤の販売は好調に推移しましたが、電子材料用配合製品などの販売は減少しました。

その結果、売上高は28億33百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は97百万円（同7.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億94百万円増加し、924億94百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が19億79百万円減少した一方、現金及び預金が5億14百万円、有形固定資産が21億72百万円、投資有価証券が8億56百万円増加したことなどによります。

負債は、支払手形及び買掛金が10億44百万円、賞与引当金が5億78百万円減少した一方、短期借入金が増加した27億4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ14億53百万円増加し、380億25百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億41百万円増加し、544億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2020年5月8日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,636 | 10,151 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,789 | 20,809 |
| 電子記録債権 | 1,656 | 1,561 |
| 商品及び製品 | 8,803 | 9,324 |
| 仕掛品 | 912 | 1,034 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,399 | 6,040 |
| その他 | 1,248 | 1,316 |
| 貸倒引当金 | △109 | △103 |
| 流動資産合計 | 51,337 | 50,134 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,227 | 8,154 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 6,729 | 6,335 |
| 土地 | 5,147 | 4,990 |
| 建設仮勘定 | 10,310 | 13,075 |
| その他（純額） | 630 | 660 |
| 有形固定資産合計 | 31,044 | 33,217 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 262 | 191 |
| その他 | 988 | 1,084 |
| 無形固定資産合計 | 1,250 | 1,275 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,919 | 6,776 |
| 退職給付に係る資産 | 264 | 260 |
| 繰延税金資産 | 268 | 251 |
| その他 | 349 | 340 |
| 貸倒引当金 | △63 | △60 |
| 投資その他の資産合計 | 6,738 | 7,567 |
| 固定資産合計 | 39,034 | 42,060 |
| 繰延資産 | | |
| 開業費 | 228 | 299 |
| 繰延資産合計 | 228 | 299 |
| 資産合計 | 90,600 | 92,494 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,174 | 8,130 |
| 短期借入金 | 5,100 | 7,804 |
| 未払法人税等 | 293 | 372 |
| 未払消費税等 | 212 | 121 |
| 賞与引当金 | 1,177 | 599 |
| 役員賞与引当金 | 45 | 10 |
| 修繕引当金 | — | 36 |
| 設備関係支払手形 | 227 | 199 |
| その他 | 4,780 | 4,841 |
| 流動負債合計 | 21,011 | 22,116 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 3,945 | 3,912 |
| 繰延税金負債 | 602 | 947 |
| 修繕引当金 | 45 | 60 |
| 退職給付に係る負債 | 322 | 342 |
| 資産除去債務 | 339 | 333 |
| その他 | 307 | 313 |
| 固定負債合計 | 15,560 | 15,909 |
| 負債合計 | 36,572 | 38,025 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,343 | 3,343 |
| 資本剰余金 | 3,564 | 3,564 |
| 利益剰余金 | 44,969 | 45,045 |
| 自己株式 | △1,210 | △1,210 |
| 株主資本合計 | 50,665 | 50,742 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,886 | 2,438 |
| 為替換算調整勘定 | 494 | 207 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △499 | △492 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,881 | 2,153 |
| 非支配株主持分 | 1,480 | 1,573 |
| 純資産合計 | 54,027 | 54,469 |
| 負債純資産合計 | 90,600 | 92,494 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 18,226 | 15,977 |
| 売上原価 | 14,011 | 11,928 |
| 売上総利益 | 4,214 | 4,049 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,340 | 3,248 |
| 営業利益 | 874 | 800 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 7 |
| 受取配当金 | 64 | 67 |
| 不動産賃貸料 | 24 | 23 |
| その他 | 95 | 17 |
| 営業外収益合計 | 187 | 115 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 46 | 35 |
| 為替差損 | 26 | 1 |
| その他 | 17 | 11 |
| 営業外費用合計 | 89 | 47 |
| 経常利益 | 972 | 868 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 5 |
| 投資有価証券売却益 | 8 | 33 |
| 特別利益合計 | 8 | 39 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 6 | 9 |
| 操業休止関連費用 | 63 | — |
| 特別損失合計 | 70 | 9 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 910 | 898 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 124 | 161 |
| 法人税等調整額 | 185 | 114 |
| 法人税等合計 | 309 | 275 |
| 四半期純利益 | 600 | 622 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 99 | 109 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 501 | 513 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 600 | 622 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △386 | 552 |
| 為替換算調整勘定 | 42 | △303 |
| 退職給付に係る調整額 | △8 | 7 |
| その他の包括利益合計 | △353 | 255 |
| 四半期包括利益 | 247 | 878 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 151 | 785 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 96 | 92 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響について、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した同感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、当社グループに関連する製紙・印刷業界や自動車業界、スマートフォンをはじめとする電子業界では生産活動への影響が出ておりますが、生活関連製品の需要は堅調に推移すると見込まれます。

当連結会計年度における新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、第1、第2四半期連結会計期間での関連業界における生産量の減少を5～30%、第3、第4四半期連結会計期間は概ね回復基調となる前提で、当社グループの売上高への影響は各セグメントで5～7%減少すると見込んでおります。このような仮定を置いて、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性の判断等について会計上の見積りをおこなっております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、第二波・第三波による感染拡大が懸念される状況下において、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 製紙薬品 | コーティング | 粘接着 | 機能性材料 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,842 | 4,089 | 6,592 | 2,622 | 18,146 | 79 | 18,226 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | 8 | 8 |
| 計 | 4,842 | 4,089 | 6,592 | 2,622 | 18,146 | 88 | 18,235 |
| セグメント利益 | 134 | 324 | 362 | 105 | 926 | 9 | 935 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------|------|
| 報告セグメント計 | 926 |
| 「その他」の区分の利益 | 9 |
| 全社費用の配賦差額(注) 1 | 158 |
| コーポレート研究開発費用(注) 2 | △70 |
| 営業外損益(注) 3 | △148 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 874 |

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-------|-------|--------|------------|--------|
| | 製紙薬品 | コーティング | 粘接着 | 機能性材料 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,930 | 3,461 | 5,685 | 2,833 | 15,910 | 66 | 15,977 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | 4 | 4 |
| 計 | 3,930 | 3,461 | 5,685 | 2,833 | 15,910 | 70 | 15,981 |
| セグメント利益 | 27 | 312 | 290 | 97 | 727 | 6 | 733 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------|-----|
| 報告セグメント計 | 727 |
| 「その他」の区分の利益 | 6 |
| 全社費用の配賦差額(注) 1 | 248 |
| コーポレート研究開発費用(注) 2 | △93 |
| 営業外損益(注) 3 | △89 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 800 |

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。